

## 総領事からの活動報告(6月後半)

平成 24 年 6 月 27 日

### ◆ 三堀千栄子さんの叙勲伝達式(於 森上美術館)

6月26日、森上美術館内講堂において三堀千栄子さん(森上美術館・日本庭園 文化担当副理事長、草月流フロリダ支部長)に対する叙勲伝達式が行われました。半世紀にも及ぶ日米文化交流促進面での大いなる貢献が認められ、その御功勞に対して、今回、旭日双光章(きよくじつ そうこうしょう)が授与されました。



三堀さんは、文化交流に顕著な功績があったことを讃えられて、8年前に外務大臣表彰を授与されています。今回の森上美術館での叙勲伝達式は、森上美術館・日本庭園の35周年記念日でもあり、また、三堀さんの御誕生日とも重なりました。受章後、三堀さんからは、今回の叙勲は、自分に対してではなく、森上をこれまで支えてこられ皆様全員に対しての叙勲と受け止めています、ご主人の支えなくして今日の自分はなく感謝をしています、との趣旨を語っておられました。(右写真は、三堀御夫妻と森上美術館前庭にて撮影)



### ◆「キズナ(絆)」プロジェクト等により訪日するフロリダ高校生一行への壮行会

3. 11東日本大震災後の米国の対日支援に感謝し、日米次世代による日米相互の理解を深める交流プログラムである「絆プロジェクト」が今年度から開始されました。

全米から1千人規模の高校生が日本へ招待されます。絆プロジェクトにより、フロリダ州プロ



ワード郡にあるウェスタン高校から選抜された23名の高校生達も、7月上旬、日本に向けて出発予定です。6月18日、訪日予定の高校生達及び昨年からスタートしたJET(ジェット)記念高校生訪日招待計画の2名の高校生、日本語・文化の指導をされてきたフィッシャー先生、パルメット高校のアベロ先生、及び同じ高校の副教頭先生、一部生徒の御父母様を

公邸にお招きをして壮行会を行いました。

二つの高校生代表達による日本語での御挨拶、その後、ウエスタン高校生達全員による「最も美しいアメリカ」1曲のコーラスが披露されました。これまで高校で日本語・日本文化を学んだことがあり、今回、願ってもない訪日の機会に興奮気味な高校生達と楽しい歓談のひと時を過ごしました。



### ◆プロワード郡で 25 年間活躍している日本人水泳コーチ

今年5月、フォート・ローダーデールで行われた第 48 回水泳の殿堂入りに当方が出席した際、米国水泳チーム団体から、日本水泳連盟を通じて東日本大震災で影響を受けた東北地方の水泳チームへの義援金が渡るとのお話をお伝えしました。6月中旬、当地での同義援金活動の中心となったラッセル・ベーカーさん（水泳の殿堂博物館会員、同市国際交流委員：写真下の右からお二人目の方）及び丹水泳コーチと懇談する機会がありました。

1965年に世界各都市の中から、水泳の殿堂にふさわしい都市として、フォート・ローダーデール(F/L)市が選ばれ、その後、水泳の殿堂博物館とオリンピック競技で使用する50メートルプールが二つ、飛び込み台などの施設が建設されました。以後毎年、世界水泳界で活躍され、新たに水泳の殿堂入りをされる、かつての名水泳選手達を紹介する恒例行事が毎年開催されております。



丹コーチ（写真左からお二人目）は、マイアミ大学で水泳コーチ助手の後、プロワード郡にある私立高校の女子水泳チームを指導して、フロリダ州の最優秀女性スイマー達を毎年のように育成し、南フロリダの地元主要紙サン・センチネル紙から南フロリダ最優秀水泳コーチとして称賛されたこともあります。現在は、3歳児からマスターズクラスまでの水泳指導を毎日早朝から夜までなされておられます。特に幼児の水泳指導では、如何にして水に対する恐怖心を幼児・子供に与えることなく、泳げるように指導するのか、いろいろ秘訣を語って下さいました。ラッセル・ベーカーさんは、関西の大学へ留学し、その後、英語教師としても訪日した方で、最近では鹿児島へ何度も訪問された大の親日家です。

ラッセルさんは、昨年3月の東日本大震災から3か月後の6月には被害の大きかった石巻、陸前高田、仙台などを訪問されています。同地域の訪問をきっかけに、東北三県の水泳クラブチームを励ますため、自分たちも義援金活動をすべきと地元フォート・ローダーデールで関係者へ働きかけを開始してと語っておられました。今でも、健康管理のため、週に数回、2千メートル程度泳いでいると語って下さいました。

### ◆日本人歌手による「さよならオペラ・コンサート」



マイアミから車で 1 時間のフォート・ローダーデール市内で 6 月 22 日夜、河野鉄平さんの日本帰国前オペラ・コンサートがありました。河野さんは、米国で長くオペラ修行をされておられ、昨年 12 月、当総領事館主催の天皇御誕生日レセプションの際には、日米両国歌を独唱して頂き、その力強い歌声に参会者の中で感銘を受けた方が多くお

られました。

今回の「さよなら」コンサート会場となった教会は、フロリダのベニスともよばれて運河の数多いフォート・ローダーデール市内にあり、教会の庭先からも、すぐ傍の運河に浮かぶクルーザーが見えました。

演目は、ベルディ、ワグナー、チャイコフスキーなどのオペラ曲と、ピアノ演奏もありました。河野鉄平さんは、大変に声量のある低音で観客を魅了され、公演終了時は、観客全員が総立ちとなって拍手はしばらく鳴りやみませんでした。日本に帰国される直前の最後の公演であり、地元の方々と共にオペラの醍醐味を堪能させて頂きました。日本での益々の御活躍を大いに御期待申し上げます。(了)



(在マイアミ日本総領事 川原 英一)